

12/17 一人一人が力を発揮して ベスト8入りを目指す

国東高校弓道部・全国大会出場報告

国東高校の弓道部員4名(2年生)が市役所を訪れ、県大会での優勝と、茨城県で開催される全国大会への出場を三河市長に報告しました。最後に矢を射る「大将」の兒玉蒼士さんが「一人一人が力を発揮して、ベスト8に入れるよう頑張ります」と三河市長に抱負を述べました。出場者は次の通りです(敬称略)。▼坂本匠、安部隆晟、兒玉蒼士、江原朝陽。



12/10 早稲田大学の学生が 国東オーリーブを活性化

国東オーリーブ・イルミネーション点灯式

河野農園(安岐町山浦)で、オーリーブ樹木を使ったイルミネーションイベントが行われました。これは、JA共済連の仲介で、早稲田大学の学生が国東オーリーブについて3年間学習し、国東オーリーブを活性化するための提案として実施されたものです。生産者ら関係者約40名が出席し、オーリーブの木を彩るイルミネーションの明かりを楽しみました。



12/2 更生を支えて 明るい社会をつくる

創立65周年記念祝賀会

アストくにさきで、国東地区更生保護女性会の創立65周年を祝う式典が開催されました。同会は、県下で2番目に長い歴史を持っています。式典では、長年会員として活動された方の表彰や感謝状贈呈などが行われました。会長の河野則子さんは「ますます公助の取り組みを進めて、明るい国東市をつかっていきたいです」と今後の決意を述べました。



11/30 最新技術を用いて 災害に強い市を築く

Q-ANPIとドローンによる孤立救援訓練

国見グラウンドで、市の衛星安否確認サービス「Q-ANPI」と県の災害用ドローンを用いて、孤立救援訓練が行われました。訓練は、大地震で道路や地上通信網が寸断され、国見町内に孤立地区が出ているという想定で実施。Q-ANPIや支援物資をドローンで孤立地区に運び込む様子を、市の防災士の方々が熱心に見学していました。



12/24 伝統の「ミカン式」が復活

熊毛小・ミカン式

熊毛小学校で、ミカン式が行われました。国東半島では、ミカン農家が学校にミカンを寄贈するミカン式が盛んに行われていましたが、昭和50年代後半に途絶えてしまいました。今回、柑橘研究会(吉本義信会長、会員53名)がミカン式を復活させ、熊毛小学校で贈呈式が行われたものです。寄贈いただいたミカンは、市内の幼児教育施設や小中学校に配布されました。



12/23 市役所の門松を見て おめでたい気分

綱井門松保存会・市役所玄関に門松製作

国東町綱井の「綱井門松保存会」の皆さんが、市役所の玄関前に門松を製作しました。2時間ほどかけて、立派な門松が完成。難波隆信代表は「市役所を含め、市内8か所で門松を作りました。市役所は多くの方が訪れる場所なので、門松を見ておめでたい気分になってほしいです」と充実した表情で語りました。



12/6 商工会女性部が七島蘭で 高校受験生を応援

安岐中・七島蘭のお守りキーホルダー贈呈式

国東市商工会女性部が、市内の中学3年生に七島蘭で作ったお守りキーホルダーを贈呈しました。12月6日に安岐中学校で行われた贈呈式では、西田文代会長が生徒代表の長塚由奈さんにお守りキーホルダーを手渡しました。長塚さんは「この七島蘭のお守りを身に付けて、高校受験を頑張りたいです」とお礼を述べました。



12/4 双国高校の大先輩が 在校生にエール

国東高校双国校・閉校記念事業

国東高校双国校の閉校記念事業として、みんなから竹田津実さん(北海道在住、国見町竹田津出身で双国高校卒)の講演会が開かれました。竹田津さんが、長年獣医師としてキタキツネを調査した体験談などを熱弁。竹田津さんは「若い頃は思い切って挑戦してほしい。挑戦することで、幸せをつかむことができます」と高校生に呼びかけていました。

